

◎日本国とアメリカ合衆国との間の相互防衛援助協定第七条及び附属書G
に基づく資金の提供に関する交換公文

(略称) 米国との相互防衛援助協定第七条及び附属書Gに基づく資金の
提供に関する取極

平成	六年	二月	一日	東京で
平成	六年	二月	一日	効力発生
平成	六年	六月二十二日		告示

(外務省告示第三五一号)

目次

	ページ
日本側書簡	二二八〇
協定第七条2による米国への円資金の提供	二二八一
協定附属書G3による負担経費の価額に関する合意	二二八一
米国側書簡	二二八三

米国との相互防衛援助協定第七条及び附属書Gに基づく資金の提供に関する取極

二二八二

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かつて敬意を表します。

千九百九十四年二月一日に東京で

日本国外務大臣 羽田 孜

アメリカ合衆国特命全權大使 ウォルター・F・モンデール閣下

Excellency's reply.

I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Tsutomu Hata
Minister for Foreign Affairs
of Japan

His Excellency
Mr. Walter F. Mondale
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary
of the United States of America

米国側書簡

(米国側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本使は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本使は、更に、アメリカ合衆国政府に代わって前記の取極を確認するとともに、閣下の書簡及びこの返簡が両政府間の合意を構成するものとみなし、その合意がこの返簡の日付の日付の効力を生ずるものとすることに同意する光栄を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かって敬意を表します。

千九百九十四年二月一日に東京で

アメリカ合衆国特命全權大使 ウォルター・F・モンデール

日本国外務大臣 羽田 孜閣下

(U.S. Note)

Tokyo, February 1, 1994

Excellency,

I have the honor to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honor to confirm on behalf of the Government of the United States of America the foregoing arrangements and to agree that Your Excellency's Note and this Note shall be regarded as constituting an agreement between the two Governments, which will enter into force on the date of this reply.

I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Walter F. Mondale
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary
of the United States of America

His Excellency
Mr. Tsutomu Hata
Minister for Foreign Affairs
of Japan

米国との相互防衛援助協定第七条及び附属書Gに基づく資金の提供に関する取極

一一一八三

(参考)

この取極は、昭和二十九年三月八日に署名された相互防衛援助協定及びこれに基づく取極（現行条約集覧及び条約集第一一五一号参照）第七条及び附属書Gに基づき、日本国政府が平成五年四月一日から平成六年三月三十一日までの会計年度において米国政府に一億三千七百三十五万六千円までの資金を提供することを定めたものである。